

No.626

法音

令和3年

12月号

— 今月のご法話 —

質直意柔軟

目蓮宗
法音寺



勇猛精進

慈悲

今日一日、
人を喜ばせましょう
今日一日、
笑顔で人に接しましょう
今日一日、
ほめ合って暮らしましょう
今日一日、
一善を積みましょう

月刊・法音 令和3年12月号 No.626 目次

【信仰の指針】質直しちじき 只管に理屈ぬきで功德を重ねましょう 1

質直意柔軟 山首 鈴木正修 2

◆講日のご案内 19

◆有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 20

◆中外日報に『転法輪』が紹介されました 22

◆仏教説話・海神問答 23

◆私達は菩薩行をするために生まれてきたのです 31

◆知っているようで知らなかった!?法音寺のこと②④ 32

◆お寺の本棚 36

◆のりのね体験 38

◆第38回御法推進全国大会開催 40

◆支院だより 43

◆福祉のひろば 59

○幸せのお手伝い 60

○昭徳会・コロナ禍から生まれた新たな内定式 62

○日本福祉大学・留学生への日本語教育支援 64

◆賛助員ご芳名 66

◆幸せの種まき／編集後記 66

◆連載まんが・ひまわり・107 なじんだグローブ 68

◆法音寺の社会福祉・教育事業 69

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書 表紙写真・ダリア

掲載写真 表紙・信仰の指針・3頁・梅田雅臣氏撮影

2頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

しち

じき

質直

ひ
た
す
ら

只管に理屈ぬきで

功徳を重ねましょう

日教友



ワタの実



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

質直意柔軟

私が理事長を務めております社会福祉法人昭徳会が百周年を迎えた時、マラソンランナーの高橋尚子選手を指導された小出義雄監督に記念講演をお願いしました。

一昨年お亡くなりになった小出監督は、晩年に「本当に楽しいかけっこ人生だった。一つだけ思い残すことがあるとすれば、世界選手権で銀メダルを取れなかったことだ」とユーモアを交えて語っておられたそうです。オリンピックでは高橋選手が金メダル、有森裕子選手が銀メダルと銅メダルを獲得しました。世界選手権では鈴木博美選手が金メダル、千葉真子選手が銅メダルを獲得しています。



小出監督は、「選手を育てる中で、勧誘した子は強くなる。一銭もかけなかった子が強くなっている。志の差だと思う」と言っておられました。有森選手も高橋選手も勧誘した選手ではなかったそうです。それどころか二人ともチームに入れることをためらったそうです。有森選手は小さい頃に股関節脱臼を繰り返し、さらに小学5年生の時には交通事故に遭っていました。他の選手と一緒に走らせてみると、案の定、最後尾をトコトコ着いていくのが精一杯でした。そんなある日、「監督、オリンピックに連れて行ってください」「オリンピックって、お前、観戦にでも行くのか」「違います。私はオリンピックで走るためにこのチームに入りました。そのためだったらどんな練習にも耐えます。他の人が一時間練習するのなら、私は二時間頑張ります」という会話があり、



この後、有森選手は並外れた精神力で血のにじむような努力を続けたそうです。

高橋選手も実績はなく、マラソン選手としては年を取っていました。ためらう小出監督に高橋選手は「お願いします。私を強くしてください。お給料は要りません。ご飯を食べさせていただければそれだけで結構です」と言ったのです。その姿があまりにも健気で、情にほだされた小出監督は「よしわかった。お前を世界一にしてやる」と言ったそうです。

高橋選手がオリンピックで金メダルを獲得できたのは、「彼女が特別に素直だったから」と小出監督は言われました。小出監督によると、世界選手権で金メダルを獲得した鈴木博美選手は、高橋選手よりもっと才能があったのですが、素直ではなかったそうです。



小出監督が「お前は世界一になれる」と高橋選手に言う
と、「ありがとうございます。監督、死ぬ気で頑張ります」と返事をしました。しかし鈴木選手に「お前は世界一になれる」と言ったところ、「監督、Qちゃん（高橋選手）にも同じことを言っているそうじゃないですか」と激怒したそうです。そこで小出監督は「Qちゃんはみんなと競り合って世界一になるが、お前は違う。ダントツで勝つよ」とおだてました。ところが、鈴木選手は「私は1万メートルでいいです。マラソンのように長い距離はいやです」と、なかなかマラソンを始めませんでした。小出監督は、鈴木選手が有森選手のオリンピックでの活躍に刺激を受けて、「マラソンに転向する」と言い出すまで10年待ちました。

小出監督は言います。



「もし最初に勧めた時に鈴木が素直に『はい』と言っていれば、たぶんオリンピックで金メダルを2つ取っていただはです。シドニーの金メダルもQちゃんではなく鈴木だったと思います。彼女にはそれほどの才能があったのです」

高橋選手は、明るく素直で、嫉妬しない選手だったそうです。有森選手が銀メダル、銅メダルを獲った時に、中には素直に喜べない選手もいました。しかし、高橋選手は「有森さん、良かったですね」と素直に喜びました。また鈴木博美選手が金メダルを獲った時も、「鈴木さん、良かったですね。私も頑張ります」と、人の喜びを自分の喜びとし、それを糧とする選手でした。「あの素直さがQちゃんを金メダルに導いたんだ」と小出監督は言い



ます。高橋選手は、金メダルだけではなく、国民栄誉賞を受賞しています。「Ｑちゃんはその明るさと素直さで幸運をつかみ取ることができた。人間は素直でなければならぬと思う」と小出監督は述懐しています。

「素直」という言葉で思い出すのが松下幸之助さんです。松下さんはいつも「素直が大事」と言われていたそうです。松下さんの著書の中で最も売れた『道をひらく』という本があります。日本の歴代ベストセラー2位です。（ちなみに1位は黒柳徹子さんの『窓際のトットちゃん』、3位はＪ・Ｋ・ローリングの『ハリーポッターと賢者の石』、4位が乙武洋匡さんの『五体不満足』、5位が養老孟司さんの『バカの壁』です）



『道をひらく』の冒頭には次のようにあります。
「素直な心、その中にこそ真実をつかむ偉大な力がある」
また「素直に生きる」と題して次のように松下さんは語られています。

「逆境、それはその人に与えられた尊い試練であり、この境涯に鍛えられてきた人は誠に強靱である。古来、偉大なる人は逆境にもまれながらも、不屈の精神で生き抜いた経験を数多く持っている。誠に逆境は尊い。だが、これを尊ぶあまりに、これにとらわれ、逆境でなければ人間が完成しない」と思い込むことは、一種の偏見ではなからうか。逆境は尊い。しかしまた順境も尊い。要は逆境であれ、順境であれ、その与えられた境涯に素直に生きることである。謙虚の心を忘れぬことである。素直さを失ったとき、逆境は卑屈を生み、順境は自惚を生



む。逆境、順境、そのいずれをも問わぬ。それはその時にその人に与えられた一つの運命である。ただその境涯に素直に生きるがよい。素直さは人を強く正しく聡明にする。逆境に素直に生き抜いてきた人、順境に素直に伸びてきた人、その道程は異なっても、同じ強さと正しさと聡明さを持つ。お互いにとらわれることなく、甘えることなく、素直にその境涯に生きていきたいものである」

鰯工舎の創設者で宮大工棟梁の小川三夫さんは日本の宮大工の第一人者です。小川さんは高校の修学旅行で法隆寺に行きました。当時の小川さんは無気力な生徒だったそうですが、法隆寺の五重塔を見て、衝撃を受け、こういうものを作りたいと突然電流が走ったように思っただけです。



法隆寺はその時、改修工事中でした。その棟梁が「法隆寺の鬼」「最後の宮大工」と言われた西岡常一さんでした。小川さんはすぐに西岡棟梁に弟子入りを願ひ出たのですが、西岡棟梁は「仕事がないから弟子は取らない」と断りました。

それから小川さんは何度も西岡棟梁に弟子入りを願ひ出しました。そして4年後、ようやく弟子入りが許され、西岡棟梁のただ一人の内弟子となりました。

小川さんは雑誌のインタビューで、若い人に伝える技術に関して問われ、次のように言っています。

「技術なんてひとつも教えない。西岡棟梁だって俺にひとつも教えてくれなかったですよ。ただ、一緒に生活してたから、いろんなことを学べた。」

うちだって一緒に生活をしていて、みんなで学んでる



わけですよ。手取り足取り教えたなら、それ以上のものは
できません。でも、一所懸命自分で考えてものにしたら、
技術にとらわれずにもっと大きな仕事ができるようになる
んです。東大寺の大仏殿なんて、つくれるかどうか誰
にもわからなかったでしょう。でも、つくりたいという
一心で実現させた。それが物づくりの精神というもので
す。その精神を教えなくては駄目なんです。技術なんて
教えなくても、一緒にやっていけば自然に覚えるもので
す」

小川さんは西岡棟梁のところに弟子入りをして住み込
みとなりました。最初に西岡棟梁が削ったカンナの削り
屑を一枚もらったそうです。そのカンナ屑を窓に貼って、
くる日もくる日も同じカンナ屑ができるように、カンナ
を研いでは削り、研いでは削りを繰り返し続けたそうで



す。

ある日の深夜、「思うように研げない」という小川さんに西岡棟梁は「アホ、明日にせい。おまえみたいな屁みたいな研ぎ方してたら、一年研いでもあかんわ」と言いました。が、内心、こいつはいける」と思ったそうです。事実、小川さんは三年はかかるところを一年で習得してしまっただけです。

小川さんは言います。

「素直に見て、真似をするだけなんだが、素直な気持ちですべてにふれていかないと、真似なんかできないんですよ。批判の目があったら学ばません。素直じゃないと本当の技術が入っていかないんですよ。ちよっと知識があったとか、中途半端な勉強をしてきけると素直に聞けないから、往々にして間違いが起こるのです」



小川さんは最初に西岡棟梁から言われました。

「これから一年間はテレビ、ラジオ、新聞を一切見えてはいけない。物作りだけをしなさい」

「勉強をするために古建築の本は読んでもいいですか。

寺巡りをするのはどうですか」と質問をすると、

「必要ない。知識で物を見たら、見えるものも見えなくなる。心を素にして感じ取るんだ」という答えでした。

西岡棟梁はまた「法隆寺が教科書だ」とも言ったそうです。

小川さんの解説です。

「太い柱、材を使って作り上げた法隆寺には、すべての建築物の基本である構造の美があります。初めてこうした大型の建物に挑んだ飛鳥の工人達の魂がこもっています。長いこと寺社建築に関わってきましたが、思うこと



は、仕事は技術じゃない、魂たましいということですよ。それを思おもい起おこさせてくれるのが法隆寺ほうりゅうじです。日本の神社建築じしゃけんちくは、私わたしはここから始はじまったと思おもっています」

御開山上人ごかいざんしょうにんは心の広い素直すなおな方かただったと聞きいておりま
す。

御開山上人ごかいざんしょうにんは23歳さいの時に杉山先生すぎやませんせいの門もんに入はいられました。
すべてを杉山先生すぎやませんせいの言いわれる通とおりにされました。最初さいしよは
杉山先生すぎやませんせいから「東京とうきやうに行いきなさい」と言いわれ、東京支部とうきやうしぶ
で半年はんとしくらい毎日まいにち、法華経ほけきやうと日蓮聖人にちれんしょうにんの御遺文ごいぶんを読よみ続つづ
けられました。東京とうきやうから帰かえつてくると、今度は杉山先生すぎやませんせい
に法華経ほけきやうを勉強べんきやうする目的もくてきを問とわれ、「仏ほとけになって、家族かぞく
や縁えんのある人々ひとびとをみんな極楽ごくらくに連つれて行いきたい」と答こたえ
ると、「それではハンセン病びやうの人のお世話せわをするように」



と命じられました。そして福岡・生の松原のハンセン病療病院の再建に行かされたのです。そこでほぼすべての財産を失われました。それまでパン工場を経営して裕福な生活をしておられたのですが、その時の財産を生松原で使い果たされたのです。

名古屋に帰ってきてても、杉山先生からは一言のねぎらいの言葉もなかったそうです。すぐに「不良少年の教育をせよ」との命令で、知多半島の臥竜山に行かれました。それが終わると今度は「親のない子を育てるように」と言われました。当時、親のない子の中には、被虐待児が多かったようです。齒を半分くらい、一本ずつ折られた子どもとか、体中にあざのある子どもなど、かわいそうな子ばかりだったそうです。戦後は戦争孤児を含めて多い時には400人近くを育てられました。



晩年、御開山上人は「杉山先生の言われる通りにやってきて本当にありがたかった。法華經の実行と仏になることの意味がわかりました」と言われています。信仰において素直ということはとても大事なことだと思っています。

法華經・如来寿量品の自我偈の中に「質直意柔軟」という言葉があります。質直の「直」は素直、「柔軟」は〴〵ところが柔らかい〴〵ということです。

「衆生既に信伏し 質直にして意柔軟に 一心に仏を見
たてまつらんと欲して 自ら身命を惜しまず 時に我及び衆僧 俱に靈鷲山に出ず 我時に衆生に語る 常に此にあって滅せず 方便力を以っての故に 滅不滅ありと現ず 余国に衆生の 恭敬し信樂する者あれば 我復彼



の中なかにおいて 為ために無上むじょうの法ほうを説とく」

心こころが素直すなおで柔軟にゅうなんであれば、仏ほとけさまにお会あいできるのです。仏ほとけさまが無上むじょうの法ほうを説といてくださるのです。何事なにことにおいても素直すなおなことは大事だいじですが、特に信仰しんこうにおいては、素直すなおに理屈りくつ抜きで信行しんぎょうをすることが何なにより大事だいじです。理屈りくつ抜きで功德くどくを積つみたいという心こころが尊たついのです。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

❖ 今月の山首上人さまご親修日程

西春支院	12月2日(木)	明川支院	12月4日(土)
田川支院	12月11日(土)	岡山支院	12月12日(日)
京都支院	12月19日(日)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住 所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	5日・12日・25日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	10日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市中心4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	5日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	4日・25日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ご連絡は本山事務局へ
佐屋支院	4日・12日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・25日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・21日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・12日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	5日・15日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・26日	郡上市八幡町小野721-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

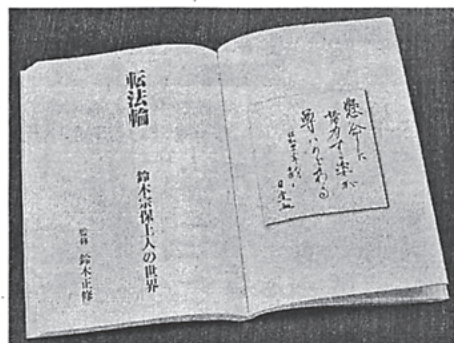
京都支院	1日・9日・19日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	4日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	12日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	5日・12日・22日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	11日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	5日・7日・12日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	15日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・19日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	11日・19日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	4日・19日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	12日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	5日・15日・19日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)441-5445
筑後布教所	12日・26日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	11日・26日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・25日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	13日・26日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

中外日報に『転法輪』が紹介されました

43回忌報恩で遺稿集

名古屋・法音寺 鈴木宗保上人偲ぶ



名古屋・昭和区の日蓮 真Ⅱを發刊した。宗祖遺を卒業後、立正大学院宗法音寺は『転法輪』鈴文の解説、法話、遺影、修士課程を修了。61年に木宗保上人の世界Ⅱ写どで、同寺の基盤づくり日蓮宗大荒行を成満。62を支援した遺年、兄の宗音氏が法音寺を徳を偲ぶ。

鈴木宗保（泰明院日（現法音寺安城支院）住職、泰明寺住職なども務め、79年に47歳で遷化した。鈴木修学・

開山の次男 出版は四十三回忌の報として出 恩事業。月刊『法音』に生。48年に掲載された宗祖遺文解説日蓮宗で得を中心編集した。『聖愚問答鈔』の解説の中で田大國文科は、法華経で説かれる提

婆達多や龍女の成仏を説くことが慈悲の心であ明した上で「ここ」で注意しなければならぬのがあるとして勧める。染筆した曼荼羅や首題、兄・宗音氏と写った若き日の姿、講演中の写真も収録。「常つねに行と学とのくり返し善の種まき積もる收穫」など、流麗な筆でしたためられた墨蹟もあり、人柄を偲ぶことができる。

鈴木正修住職は、戦後の経済成長期に同寺の伽藍や布教態勢が整ってきただ中で「影の形に添うが如く日蓮上人を補佐され、現法音寺教団の礎を定められたのであります」と功績を讃えている。（有吉英治）

法話「法華経は実行の宗教です」では「頭の中だけで知っているだけでは半分の信仰にもなりません」と語り、家族など周りの人の身になって考える。



昔、多くの宝を求め
大海を航海している商人の長がいた



その者は
航海に先立つて
お釈迦さまを招き
ご供養を捧げた

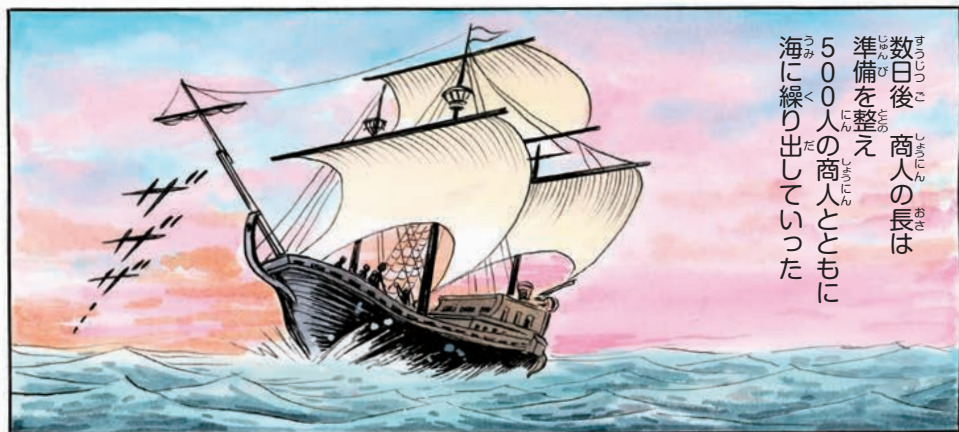


海には多くの難がある
必ず仏・法・僧の三宝を
心に念じて悪行を
戒めなさい

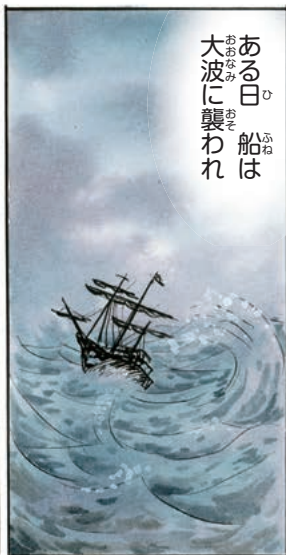
そうすれば無事に
航海を終えられる
であろう



数日後 商人の長は
準備を整え
500人の商人とともに
海に繰り出していった



ある日、船は
大波に襲われ



海から夜叉に
姿を変えた
海神が現れ
船が進むのを
妨害した



ハハハ
お前は私ほど
恐ろしい者に
会ったことが
ないだろう



なんて恐ろしい
姿なんだ

いや今こそ
仏さまを心に
念じるんだ

心が落ちついて
きたぞ...

そつだ...
仏さまの教えを
思い出そう



お前など恐ろしくない
私はお前より
数倍恐ろしい者を見
たことがある！



それはどのような
者だ

悪を犯して
地獄へ堕ちると
鬼が集まってくる
鬼は人を刀で斬り
火の中に投げ込み
苦しみを与え続ける
お前よりよっぽど恐ろしい



海神はこれを聞いて
消えてしまった

数日後…

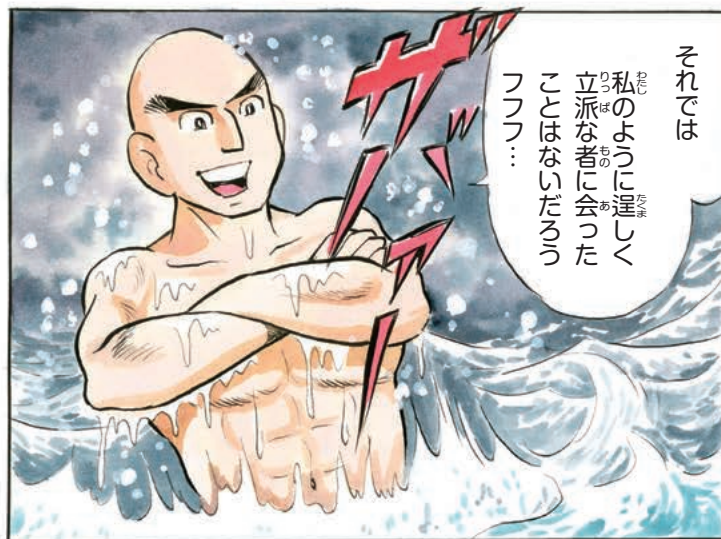


お前は私より
痩せ衰えた者を見
たことがないだろう

ある！
貪欲と嫉妬の罪障で
餓鬼界に堕ちた者は
何年たっても食べる
ことがなくなる

その者の方がお前より
痩せ衰えているぞ





それでは

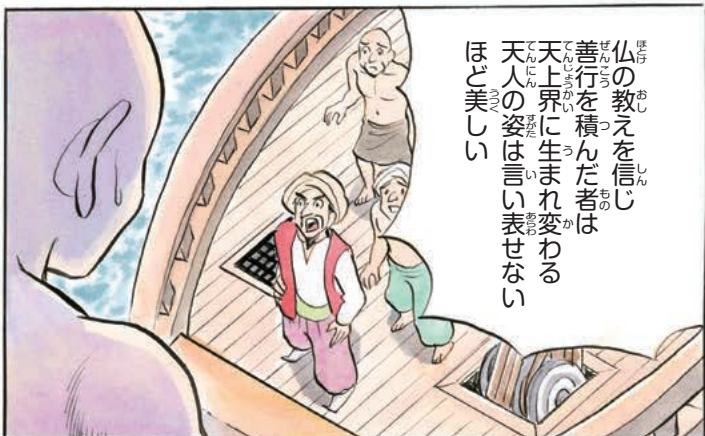
私のように遅く
立派な者に会った
ことはないだろう
フフフ…



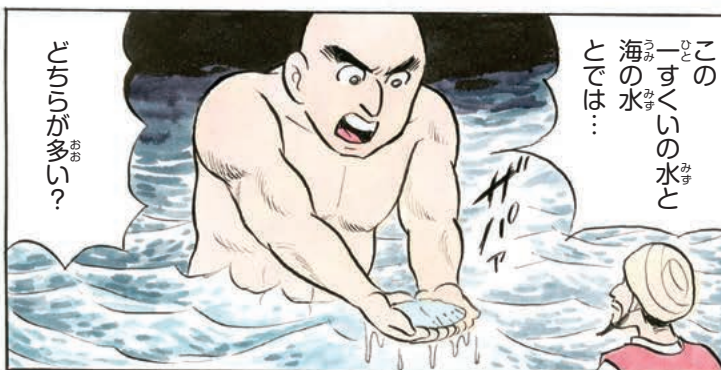
う…



天人と
比べれば
お前など
猿のような
ものだ



仏の教えを信じ
善行を積んだ者は
天上界に生まれ変わる
天人の姿は言い表せない
ほど美しい



この
一すくいの水と
海の水
とは…

どちがが多い？



では…

その一すくいの水より
海の水の方が
少ない！



何を言っか
一目見ても一すくいの
水より海の水の方が
多いのはわかりきった
ことであろつ



たしかに
それは物質の世界の話だ
いかに海の水が多くても
世界が減れば
無に帰すだろう

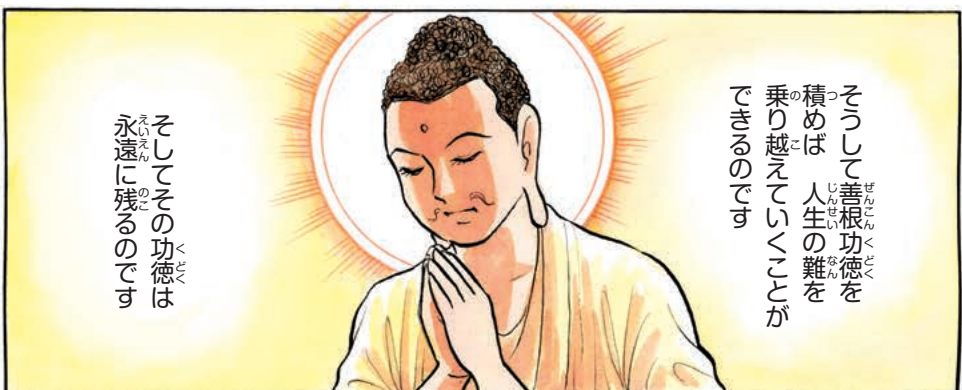


しかしその一すくいの水を
本当に清らかな心で
困っている人に施したなら
たとえ世界が減んでも
その功德は永遠に
消滅することはない

だから一すくいの
水の方が海の水より
多いと言ったのだ







おわり



私達は菩薩行をするために生まれてきたのです

自分の仕事を通し、立場を通して

少しでも周りの人を喜ばせ

徳を積んでいきましょう

誰に認められなくても

人のために尽くしていきましょう

知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと ②4

「如我等無異」と「国の宝」

「如我等無異」（我が如く等しくして異なること無からしめん）は、すべての人を仏さまと同じ幸せな境遇に導き入れたいとする、釈尊の大慈悲からほとばしり出た本願です。辰子（始祖安立大法尼）が「困った人は誰でもいらっしやい」と救済活動をしたのも、修学（御開山上人）が社会福祉法人昭徳会、学校法人日本福祉大学を設立した理念もそこにあります。

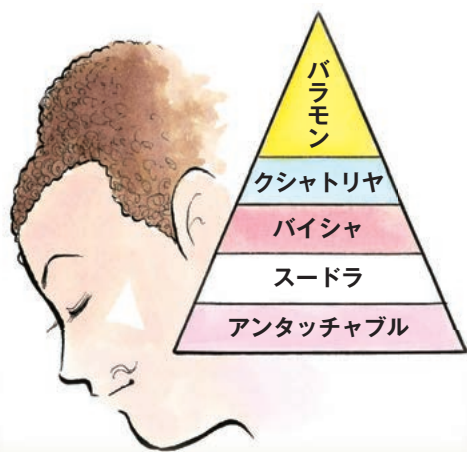
釈尊が「如我等無異」と唱えられた背景には、カースト制度という差別制度がありました。バラモン・クシャトリア・バイシャ・スードラ、さらにその下にアンタツチャブ



ル(不可触民)という人々がいて、子々孫々にいたるまで、同階層を出ることは許されませんでした。釈尊はこの差別を一掃するために「如我等無異」と叫ばれたのです。この平等観と人権の確立・保障が、現代社会福祉の根幹となる理念であることは多くの人々に周知されていますが、いざ自分の身においてこの価値観に基づいて実行することは決して容易ではありません。

人間は、他人のことより自分のことをま

ず幸せにしてほしい」と願っています。我が如く等しくではなく、まず我を他人より豊かに」と願うのです。また、人間は、学歴も地位も財産もない他者と我を等しく見られたくない」という思いがあり、まして他者が障がいを持っているとなると、よりそれが顕著になります。障がい児・者の施設を建設するにあたって、何より周辺住民の賛成が必要というのが代表例です。



日本は福祉国家と言いながら、実際、社会ではさまざまな問題が起きています。その要因の多くは、この差別観に他なりません。昨今、社会問題となり、国連など国際社会からも非難されている「ヘイトスピーチ」もその一種です。だから今、「如我等無異」という理念を共有することが大切なのです。

比叡山を開かれた伝教大師・最澄は、自らの著書に書かれました。

「径寸十枚これ国宝に非ず 一隅を照らす これ則ち国宝なり」

（お金が国の宝ではない。自分の置かれたその場所で、明るく光り輝き、周囲をも明るくすることのできる人こそ貴い国の宝である）

「国宝とは何物ぞ、宝とは道心なり」

（国宝とはどういうものだろうか。宝とは仏の教えを実行する心である）



修学の後を引き継いだ、宗音（日達上人）は次のように述べました。

「どの施設にも、いろいろな年齢や境遇の人がいます。その一人ひとりに皆、心を開いてお世話するのは骨の折れることです。そこで働いていらっしゃる方は本当に『社会の宝』です。世間には、『人間国宝』と呼ばれる人がありますが、功成り、名を遂げた人達と違って、困窮する人々のために働いてくださる方々こそ、生きた宝です。昭徳会のみならず全国で社会福祉に携わっておられる方々こそ、本当の『国の宝』

です。もし、給料の額で損・得を考えたらできないことです。まさに慈・悲・喜・捨の実践者です。その方達の実践があるから、この社会は成り立っているのです」

参考文献



『大乗山法音寺三徳開教百年史(4)』



お寺の本棚



『続現代生活の指針』

広宣流布について

（法華経を）説くべき力もあり、また説くべき境遇にある人は、身命を打ち込んで説くのも良いことですが、そのように説くべき力のある人も自ら実践がなければ、感化の力はひろく及ばないのです。

何人も法華経を説かなければならぬということは大切なことですが、法華経法師品には、その方法を示して、「受持・読・誦・解説・書写」とあります。即ち法華経を世に弘めるための五種の修行であります。名づけて「五種法師」と申します。

「受持」とは、心に深く信じ、その信じたことをたもち続けること。

「読」とは、経文をみて読むこと。

「誦」とは、経文を暗唱すること。

「解説」とは、人に対して説くこと。

「書写」とは、経文を書き写すこと。





この五つの中で、「受持」を「正行」といいます。その他の四は「助行」と申しまして、正行を助けるものと言われています。助行を励むことは、正行を助けることになって正行が進むのであります。いずれにしても、もっとも肝要なことは、各自が正しい心を持って各自の業に励むことであります。（中略）

自分の大切な職務を怠り、世間に立って一人前の人としての責を果たさずに、自ら「法華經の行者だ」と言ってみても、その説法は決して仏意に適ったことではありません。本当に教えを弘めてくださる方は、信者の皆さまです。日々の業を励み、世の中の人々と一緒になって仕事に励み、その中で立派に仏さまに教えられた行いをして、周りの方々に感化を与えてくださる力は、実に大きなことであります。僧侶の皆さんは、常に仏さまの真意を理解して、大勢の人々に仏さまの真意を伝え、信力を増進するようにすることこそ肝要です。

日蓮聖人はそのお弟子に対して「日蓮が如くにし候え」と教訓せられましたが、それは日蓮聖人のお心の通りに信心を励み、日蓮聖人のごとき広大な慈悲心をもって、一切の人に接しようということでもあります。本当に法華經の受持さえできれば、それで立派に法華經の弘通ができるのです。人に対して説法らしく説かなくても、法華經を受持する人の日々の行為は、貴い無言の説法となるのです。この心掛けさえあれば、立派に法華經の広宣流布はできるのであります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

第38回 御法推進全国大会

令和3年11月3日



11月3日、文化の日。第38回御法推進全国大会が開催されました。インターネットを利用して、本山と支院を結び同時中継も行われ、法音寺にとって新しい文化の始まりの日となりました。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で開催することができなかった御法大会。今年は何とかがして開催したいという思いが、今回の試みを生みしました。ウイルスがもたらした大きな変化です。

午後1時30分、本山と支院の間が結ばれました。

司会者より大会の流れが説明され、2時に法要開始。先師に感謝を捧げる御報恩法要、御法宣布に力を尽くされた物故功労者の皆さまの追善法要に、「先師御報恩納経」百万巻達成奉告法要が加えられました。真心の書写を重ねられた大きな大きな精進の軌跡。さらには、未来の檀信徒には、精進の目標となる宝塔です。

山首上人さまご法話

今、世界は新型コロナウイルスの影響により、大きな生活様式の変化にさらされています。今回の御法推進全国大会も中継で行うことになりました。

歴史を振り返りますと、伝染病のパンデミック（大流行）の後には、大きな変革が起こりました。

14世紀半ば、ヨーロッパでペスト（黒死病）が蔓延。人口の3分の1が失われ、イタリアでは8割が失われたと言われています。しかし、終息後、恐怖から解放された人々のエネルギーは、15世紀にルネッサンスを開花させ、火薬・羅針盤・活版印刷という3大発明が登場しました。

100年前には、スペイン風邪が流行し、世界の人口19億人のうち、5億人が感染、5千万人が死亡したとされています。終息後、世界的に経済が活況を呈しました。

現在、世界の人口78億人、新型コロナウイルスの感染者は

2億5千万人、死亡者は500万人を超えました。今後、大きな変革が予想される中、愚痴・不足で過ごすことは、変革の波に取り残される原因となります。

始祖・杉山先生は、苦修練行の末に因果の理法を悟られ、行住座臥のお題目と三徳の実行による幸福への道を示され、明治42年、仏教感化救済会を創立されました。

「妙法の道を学び、実行して幸福を得、出世をして世間の人々にその範を示し、絶大なる妙法の偉力を国内はおろか、海外にまで宣伝流布せしめんとする」のが、仏教感化救済会の目的であります」と創立の目的を述べられ、如来寿量品第十六に「我此土安穩天人常充滿」とあるように、世界を常住不壊の仏の世界にしたいという大きな目的を掲げられました。

平成18年に発願された御報恩納経は、始祖90遠忌、御開山上人60遠忌の本年、百万巻が達成されました。

先師の皆さまもお喜びくださっています。これもひとえに皆さまの心を一つにされた精進の賜物と、厚く御礼申し上げます。

不易という言葉があります。変わらないもの、変えてはいけないものということです。変わらないものは、功德であります。徳を積むということ、功德に勝るものはないということです。

その一つとして、来年から、「先師御報恩五十万巻納経」を始めます。ご書写いただくのは、我此土安穩から速成就仏身に至る如来寿量品の「久遠偈」です。納経期間は始祖百遠忌、御開山上人七十遠忌となる令和13年までの十年です。

この浄業も世界の幸福と安寧に、法音寺が寄与する僧俗一体の精進であります。ご協力くださいますようお願い申し上げます。

昭徳会・谷田和也事務局長へ挨拶

昭徳会への日頃の支援に対するお礼が述べられるとともに、さまざまな事業が展開されていることが報告されました。

また、「徳を昭らかにし、徳を以って世間を照らす」という昭徳会の理念のもと、「喜ばれる存在・喜ばれる職員・喜ばれる施設・喜ばれる法人となり、必要とされ、選ばれる福祉サービスをめざした社会救済福祉活動により、法音寺の檀信徒の皆さまにご恩返しをしてまいります」と今後の方針が述べられました。

御法推進目標の唱和を行って閉会となりました。今年はりモート開催により支院の檀信徒の皆さまとともに唱和でき、これからの御法宣布に大きな力添えとなったことと思います。

(教務委員会 大庭圓昭)

福祉の ひろば



SINCE 1912
SHOTOKUKAI



幸せのお手伝い

（経験から
少しずつ学んでいける）

R君との出会い

今から9年前、正職員1年目で初めて担当したのが一時保育でした。そして当時1歳児のR君に出会い、忘れられない体験をしたのです。

ある日、園児達と園庭で遊んでいると、倉庫の前でR君が転んで泣いていました。駆けつけて見ると、歯茎から出血していたのです。すぐに上司に報告し、保護者に連絡を取り、病院で受診することになりました。

診察中に保護者が駆けつけ、一緒に医師の話を

聞きました。歯にぐらつきはなく、大した怪我ではありませんでした。結果を聞いて思わず涙。保護者にはひたすら謝り続けました。

初めて病院を受診しなければならぬ程の怪我を負わせてしまい、かなりショックでした。そして病院に駆け込んできた時の保護者の顔…。心配でたまらない、今にも泣きだしそうな、そんな表情でした。医師の話を聞いて保護者も安心していましたが、とてもでもないことをしてしまったとひどく落ち込みました。あの時の保護者の表情が今でも忘れられません。

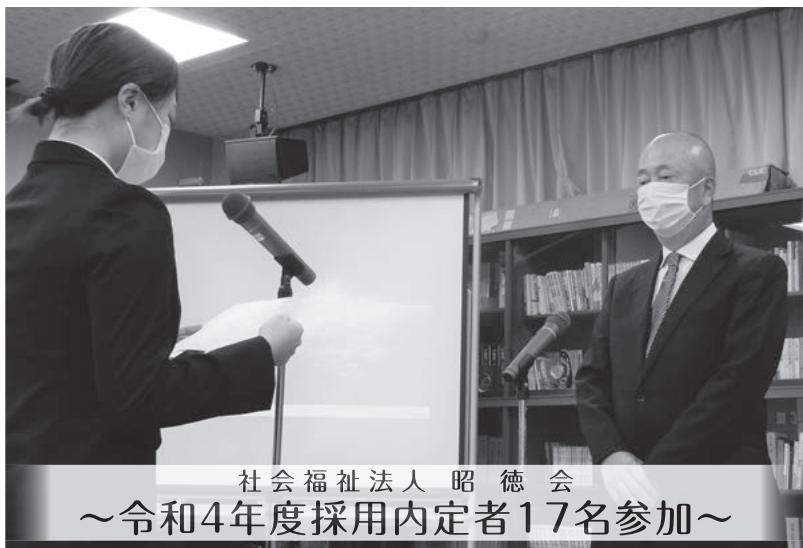
それからの私は、とにかく小さな怪我でもさせないように、と必死でした。子どもと一緒に遊び込むことをせず、全体が見える位置に立ち、子どもの人数をひたすら確認。少しでも危険だと思うとすぐに声を掛けたり、遊びを止めてしまったり。子ども達が楽しいはずもなく、私自身も苦痛でした。でも怪我だけは……!と思い悩む日々。そんな中、R君の保護者の方が「園で怪我したことはもう気にしないでくださいね。うちでもよく転んでいます。最近は転んでも手が出るようになります」と言葉をかけてくださいました。その話を聞いてハッとしました。「怪我Ⅱダメなこと」ではなく、怪我をすることで子ども自身が学び、上手な転び方ができるようになるのだと気がつくことができました。



それからは、子ども達と遊んでいる中で、危険だと思つような行動があつても、大きな怪我につながる行為以外は、とりあえず様子を見るようになりました。怪我をする直前で止め、「今のは危なかったね」と繰り返し話をする事で、経験から少しずつ学んでいけるといいなと思っています。

天王保育園 保育士 宮口 千鶴

コロナ禍から生まれた新たな内定式



写真提供・昭徳会

社会福祉法人 昭徳会
～令和4年度採用内定者17名参加～

令和3年10月15日、
雲一つない青空の下、
法音寺にて「令和4年
度 採用職員内定式」
が開催されました。

今年度の採用活動は、
緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が、途切れ
ることなく発令されていたため、就職説明会は、
すべてオンライン開催。学校訪問も実施できず、
学生と関わる機会がほとんど失われ、昨年度以上
に厳しい採用活動となりました。このような状況
の中でも、9月末時点で22名の優秀な内定者と出
会うことができました。

内定式には内定者17名が出席しましたが、直接、
内定者同士が対面するのは今回が初めてであった
ため、全員が極度の緊張で表情が強ばってしまし
た。このような中で、鈴木正修理事長（法音寺・



山首上人)より、内定者に向けて歓迎の言葉が贈られ、一人ひとりに内定証書が手渡されました。すると、少しずつ内定者の表情が希望に満ちあふれたものへと変わり、目の輝きが強くなってきました。

その後、内定者代表の奥谷 菜乃子さん(児童養護施設駒方寮 配属予定)より、

「内定をいただき、心より感謝申し上げます。私は、まもなく学生から社会人へと新たな道へ進んでいきます。この先は、福祉という社会貢献度の高い仕事に就きますが、精一杯貢献し、自らを立派な社会人として成長させていきたいと思っています。入職してから、理事長さまをはじめ、



多くの先輩職員の方々に色々とお世話になると思いますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします」と誓いの言葉が力強く述べられました。

例年であれば、式典後に参加者全員で食事を開催したのですが、今年度は新型コロナウイルスの感染予防のため中止とし、その代わりに、お土産をお渡しすることにしました。また、内定者の配属予定施設と内定式会場をオンライン(ZOOM)でつなぎ、施設長にも内定式に参加してもらいました。そして、内定者の皆さんに向けて、お祝いと歓迎の言葉が贈られました。

令和4年度、昭徳会は110年を迎えます。新たな時代に進む記念すべき入社式(辞令交付式)で、内定者の皆さんと出会えることを楽しみにしています。

法人本部事務局 事務員 尾間 絵理子

留学生への日本語教育支援

日本福祉大学

日本福祉大学（通学課程・大学院）では、今年度115名の留学生が学んでいます。留学生の出身国は、ベトナム・中国・ネパールなど、アジア圏11カ国にわたります。留学生一人ひとりが、本学で充実した学びと生活が送れるよう、学内の各部署が連携して支援を行っています。中でも重視しているのは、本学日本語教育センター（東海キャンパス）で行っている日本語教育支援です。

現在、12月に実施される日本語能力試験のN1の受験に向けた対策講座（国際交流基金・日本国際教育支援協会 共催）を毎週月曜日に開講し、国際福祉開発学部、経済学部の1、3年生13名の留学生が受講しています。

日本語能力試験とは「日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験」で、世界で最も受験者数の多い日本語の試験（年2回実施）です。2019年度は国内・海外87の国・地域で実施、延べ119万人が受験しました。試験はレベルごと（N5～N1の5段階）に行われ、N5から始まり「幅広い場面で使われる日本語を理解することができ」N1が最高レベルとされています。N1試験は、言語知識（文

字・語彙・文法）・読解で110分、聴解60分の全問マークシート形式で行われ、合格するのに必要な漢字数は約2千、単語数は1万と言われています。問題によっては日本人でもじっくり読まないと間違えてしまったり、解けない問題もあり、とりわけ非漢字圏の留学生にとっては難関です。

本学入学段階ではN2・N3レベルの留学生が、在学中にN1を取得できるよう、N1対策講座を開講するとともに、N1合格者には奨励金を支給するなど、支援に力を入れています。

前期はオンラインでの開講となりましたが、後期は対面形式で行われ、留学生にとって理解がむずかしい慣用表現や、日本人でも理解がむずかしい抽象的な内容を中心に、文字・語彙や読解の問題解説を行っています。あわせて、自分で答えを導けるよう調べて考える自習時間を設けたり、文章のつ



ながりや問題のテーマから解答を想像するなど、さまざまな手法を用いて指導を行っています。参加した留学生は、「この対策講座と配布されたドリルでしっかりと勉強して、SNSで出される課題に毎日取り組み、今回合格できるような頑張ります」と意気込みを語ってくれました。

昨年12月の試験では、ベトナム出身のドティ・ホンクエンさんが、今年7月の試験では、ネパール出身のカドカラビナさんが見事合格しています。いずれも国際福祉開発学部の学生で、大学での授業やアルバイトに励む傍ら、対策講座を受講するとともに日本語学習に毎日取り組み、難関を突破しました。

日本語教育支援とあわせて力を入れているのが、キャリア支援です。10月4日（月）には、日本での就職を希望する3年生の留学生に対し今年度2回目となる就職ガイダンスを開催しました。名古屋外国人雇用サービスセンターより講師を



迎え、自己分析のやり方や企業研究の方法、求人票の見方などの説明を聞き、ワークを交えながら理解を深めていきました。

留学生からは、就職するために必要な日本語能力のことや、日本語能力試験とSPI試験のどちらを優先すべきかなど、留学生ならではの質問が寄せられました。

コロナ禍が続く留学生達は母国に帰ることができず、また、海外フィールドワークも中止され、オンラインでの交流に変わりました。こうした数々の環境の変化に戸惑いつつも、彼らは大学院進学や国際機関での就職、あるいは日本での仕事や母国に帰ってからの仕事に夢を描き、日本での学びを深めています。制約はあるものの地域に出向き、知多半島多文化共生マップの作成や多言語翻訳に取り組んだり、外国にルーツを持つ児童の学習支援ボランティアや国際交流事業に参加している留学生も少なくありません。留学生の存在は、私達にとっても多文化共生、グローバル展開の入口です。これからも、一人ひとりの夢をかなえる支援に取り組んでいきたいと思っています。



幸せの種まき

妙法の道を学び、
実行して幸福を得、
世のお手本となって、
仏さまの教えを
伝えていきましよう

大乘山 法音寺

編集後記

先日の御法推進全国大会は初のオンライン配信となりました。今月号には特集記事としてその様子が報告されています。

当日の山首上人さまのご法話には、〃世の幸福と安寧のために、功德を重ねましょう〃という強いメッセージが込められていました。

また、今月の支院だよりを読むと、山首上人さまがご親修先で、「〃世の中をなんとかしたい〃という思いを持って、そのために〃徳を積み重ねよう〃という向上心が、健康寿命につながります」と私達の信仰の正しい姿勢をお説きくださったことが伝わってきます。

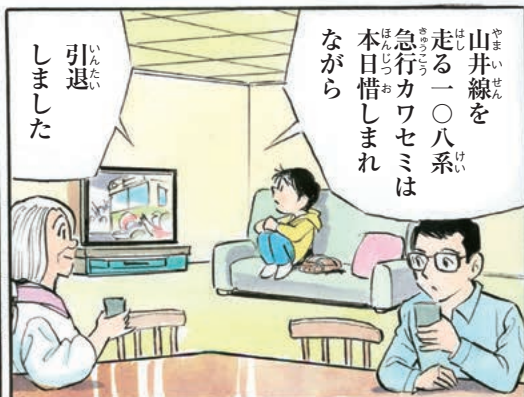
日々幸せであることを願う私達ですが、自分だけに都合の良いものでは、決して〃本当の幸せ〃とは言えません。自分に縁のある人達の役に立ち、多くの人に喜ばれ、たくさんさんの笑顔に囲まれて生活し、その上で手にする幸せこそ本当の幸せであると私達は教えられました。

法音寺に連なる私達は日々三徳を実行し、世のため人のため、他の人の幸せを願ってお題目を唱えていきたいものです。



なじんだグローブ

竹中 淳



ホームはカワセミの
ラストランを一目見ようと
鉄道ファンでいっぱい！

ありがとう

ありがとう

さようなら

とう
父さん
みんな何で
電車なんか
ありがとうって
言ってるの？

ありがとう

ありがとう

この電車の
利用者や鉄道ファン
にとって
ただの電車じゃなく
長い間
世話になった人に
思えるんだろうな

それだけみんなに
愛された電車
なんだよ

ふうーん

お義母さん
この壊れた
炊飯器
どうします？

そうなのよ
処分しなきゃって
思ってるんだけど

今までよく働いて
くれたから
捨てるには
忍びなくてね

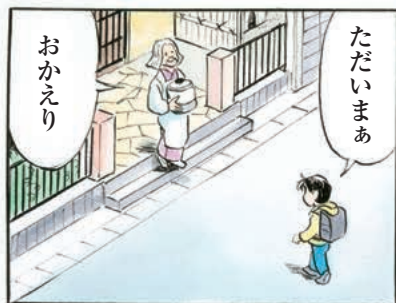
わかるう

ねえ 父さん

どうした

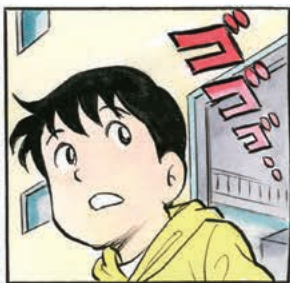
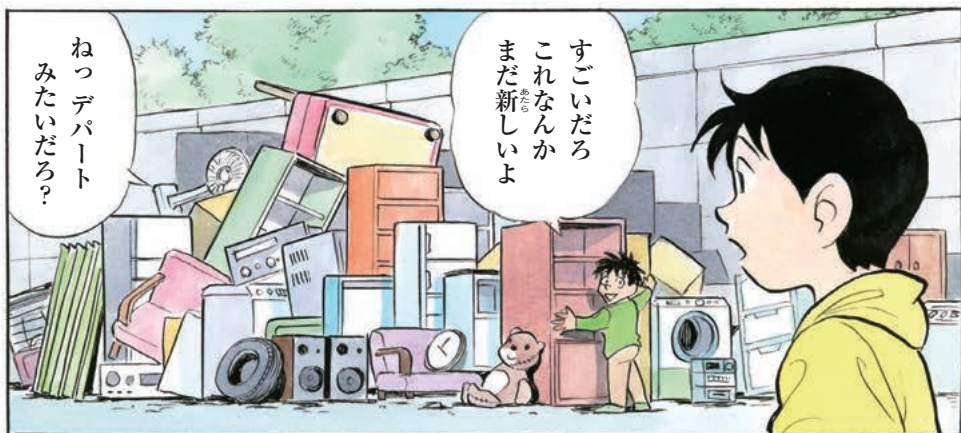
グローブなんだ
けどさ…ボク
新しいのが
欲しいんだ

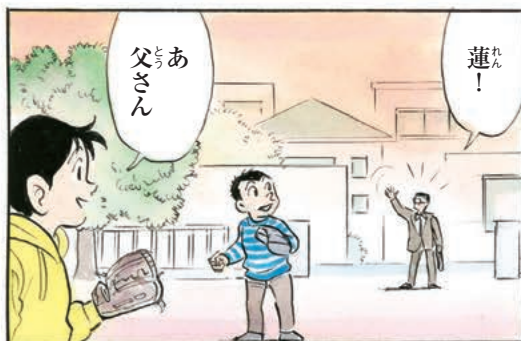
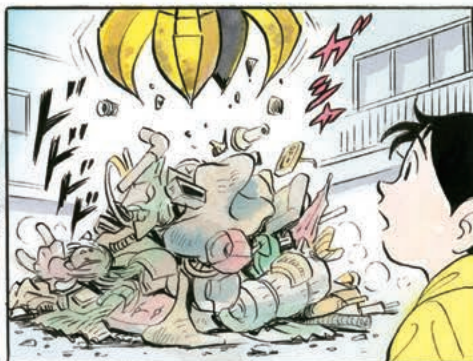
うむ ずいぶん
使い込んだな

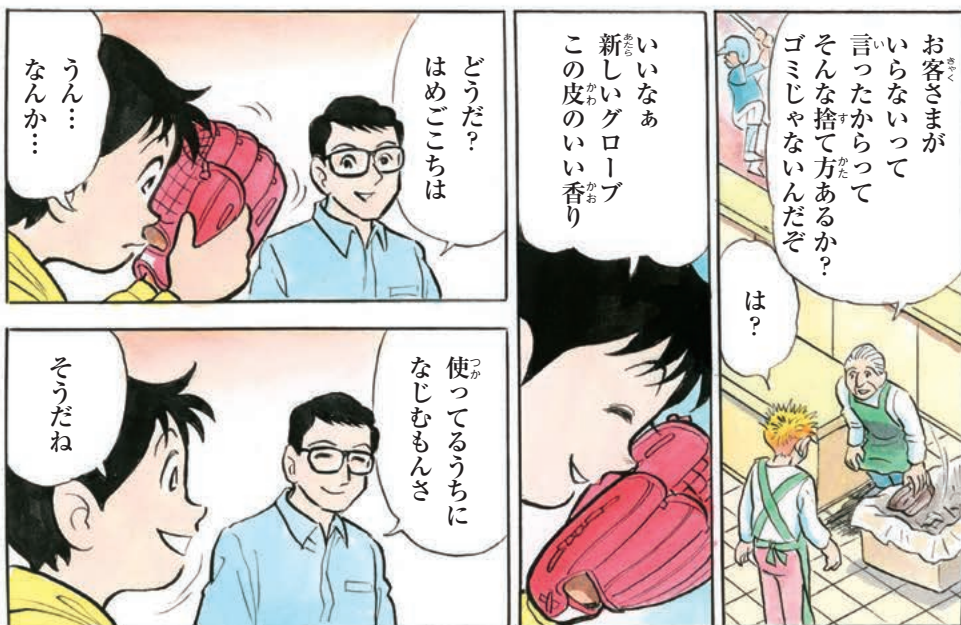
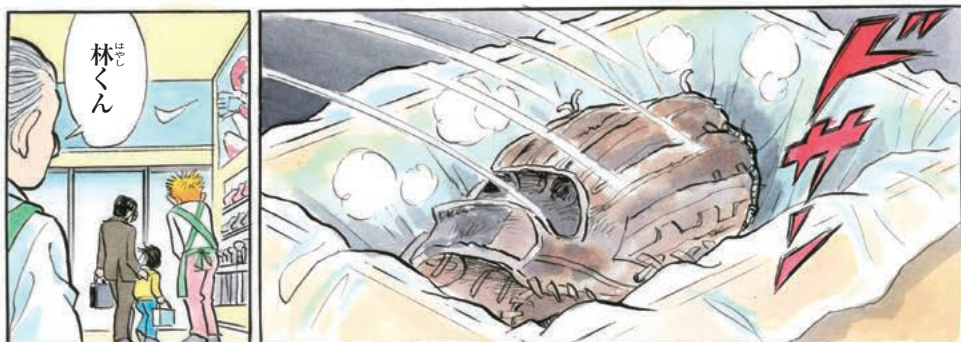


翌日
よくじつ









なぜか
ボクは捨てた
古いグローブの
ことを
考えてた



あのグローブはボクが
7歳の誕生日に
買ってもらった物だ



グローブが来る日は
父さんの帰りが
どんなに待ちどおしかった
ことだろう

父さんと初めて
キャッチボールをしたのも
あのグローブだったし



試合に出てエラーも
よくしたけどうまく
ゴロを捕った時は
うれしかったな

野球をするときは
いつもボクとは
友達のように
一緒だった



その友達をボクは
簡単に捨ててしまった

物を簡単に
捨てるのは
ダメだ

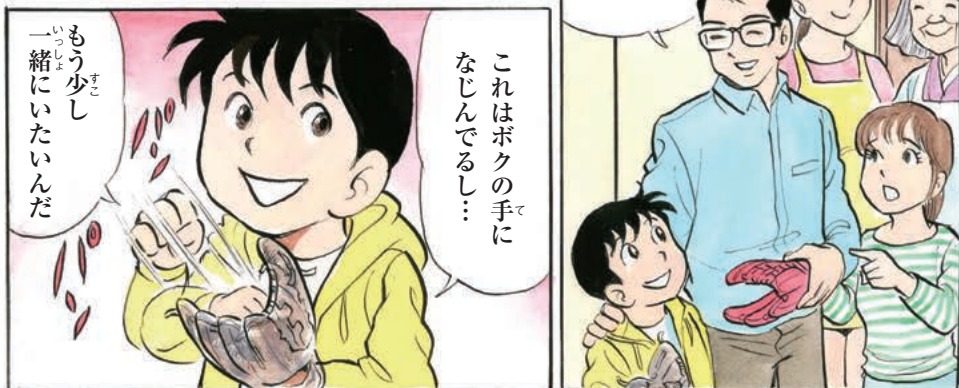
よく働いてくれた
から 捨てるには
忍びなくてね



どうした？

どこへ
行くの？





おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
<https://www.houonji.com> FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています

SNSでつながる法音寺

法音寺公式
facebookで

毎朝7時

『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjmovie>

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索

法音寺の社会福祉・教育事業

徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 養育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市中区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和3年12月号・No.626・令和3年12月1日発行
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会
非売品／印刷・(株)一誠社